

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市大倉ふるさとセンター
2	指定管理者	特定非営利活動法人 グリーンライフ東北
3	指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数》 ○古民家見学者 H25年度 15,350人 H26年度 16,008人 H27年度 15,388人 (前年度比 96.1%)
		《事業》 ○指定管理事業31事業 延べ5,632人参加 ・自然を活用した野外活動体験及び研修に関すること ・生活文化及び伝統技術の体験及び展示に関すること ・センターPRのための交流イベント ○自主及び他施設との連携事業19事業 延べ946人参加
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 22,798千円 (22,866千円) ・ その他市が負担した費用 2,921千円 (313千円)  《収入》 ・ 使用料収入 629千円 (570千円) ・ その他収入 313千円 (422千円)  ( )は前年度決算額
6	利用者の声	《アンケートの実施状況と結果》 ・ 来館者アンケート (H27.4～H28.3に実施) 古民家行事や風習などの伝承の希望が多く、職員の古民家説明も好評である。 ・ 事業参加者アンケート (H27.4～H28.3に実施) 市政だよりやホームページによる広報も定着し、リピーターに加えて初めての参加者も年々増え、事業の企画内容と職員の対応も含め高い評価を得ている。

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	設置目的を職員全員が理解しそれに基づいて適正に運営管理を行っている。	S
II	施設の運営管理体制	仕様書に定めたとおりに開館し施設の管理運営に必要な職員を配置している。指定管理料についても指定事業ごとの予算書を作成し終了後は所管課に実施・収支報告書を提出し適正に執行している。個人情報・情報セキュリティ対策については日常のミーティング等で適正な管理について確認している。事故・災害時の対応については自然体験活動を目的とする事業が多いので、参加者への注意書きの配付や役割・連絡体制等を整備して対応している。	S
III	施設・設備の維持管理	施設は日常的に職員が施設のメンテナンスを行っており、利用者が快適に利用できるように適切に管理されている。建物・設備等の管理については、仙台市指定文化財である旧石垣家住宅(古民家)の管理が難しい面もあるが、関係課と協議しながら適正に対応している。	S
IV	サービスの質の向上	接客マナー・利用受付案内等については、職員全員が共通認識のもと、親しみやすく丁寧な対応を行っている。利用者への情報提供は市政だより・ホームページ・チラシ等での広報に努めており、SNS(Twitter)についても運用ポリシーを定め運用している。目立った苦情は寄せられてはいないが、施設の掲示板において意見を募集するなどの対応をしている。	S
V	施設固有の基準	施設の貸出しと使用料徴収事務は適正に行われている。また、事業については地域資源を活用した内容で、諸団体との連携やボランティアの協力を得ることでのメリットを活かして、他施設ではできないサービスを提供した。	S

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

### 四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人グリーンライフ東北）による自己評価》
<p>昨年9月の大雨の影響で平日は山側の道路が工事をしていた為、大倉ふるさとセンター前の通行量が減ってしまい、増加傾向だった来館者数が平成26年度は16,000人を超えていたが、減少した。</p> <p>仙台市指定文化財「旧石垣家住宅」は、囲炉裏や和室を自由に見学できるので、「懐かしいね」「昔はこんな家に住んでました」と言う感想をいただくことが多い。これは、グリーンライフ東北が大倉ふるさとセンターを運営管理する上での理念である「実的なおもてなし」の成果であると自負している。今後も多くの来館者の心に響く「ふるさと」「実家」的な管理運営を目指していきたい。</p> <p>センターの事業活動については、「指定事業」「自主事業」「グリーンライフ東北事業」と、地域の協力や特色を生かし、さらに外部団体との連携で事業内容をより充実させることができた。イベント内容がマンネリ化しないよう工夫を凝らした結果、いずれもリピーターの参加や「満足」を感じるアンケート内容が多く目立った。</p> <p>PR活動については、市政日より、河北新報、ホームページなどでの広報活動により施設の知名度アップにつながっている。</p> <p>レストラン倉人については、新鮮かつ旬の地元食材を取り入れた地産地消は利用者から喜ばれた。</p> <p>イベント実施、体験活動など全体をとおして、幅広く地域の協力をいただいている。今後も、地域とのコミュニケーションを大切に、大倉ふるさとセンターの運営をしていきたいと考えている。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の運営・管理に大きな瑕疵はなく、総合的に判断して、指定管理者は当施設について、適正に運営管理を行っている判断される。</p> <p>震災の影響から回復傾向であった古民家への来館者数は大雨の影響もあって、減少した。しかし、人気のある大倉親子キャンプや大倉ダムでのカヌー体験などの自然体験事業では定員を上回る申し込みがあり、リピーターも多いなど、好評を博している。開館から10年目(2期目の指定管理期間)となり、豊かな自然や地元大倉地区の人材を活かして特色ある事業の実施に努めてきた成果と評価される。</p> <p>小学校教員を対象に実施した研修会では、授業に活かせる自然体験活動のポイントについて学べる機会として、昨年度に引き続き周辺の施設を巻き込んだ地域全体の活用することができ、参加者からも好評を得ることができた。</p> <p>認知度の低さが引き続き課題であるため、より積極的な広報活動を行い、広く市民に活用される施設となることを期待される。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局生涯学習部生涯学習課